

(d) 教育課程上の特例について

(1) 特例科目一覧

摘要範囲	特例の内容	代替措置	特例が必要な理由
第1学年	物理基礎 2単位を全て減じる。	「SS物理基礎」(2単位)を「物理基礎」の内容に「物理」の内容を含め、発展的な内容を盛り込んで実施することで代替する。	巡検の実施により地域環境を物理学的側面から捉え、地学分野も含めた科目横断的な学習を取り扱い、自然科学に関する基礎的知識の定着と発展的内容の理解を図るため。
	生物基礎 2単位を全て減じる。	「SS生物基礎」(2単位)を「生物基礎」の内容に「生物」の内容を含め、発展的な内容を盛り込んで実施することで代替する。	巡検の実施により地域環境を生物学的側面から捉え、地学分野も含めた科目横断的な学習を取り扱い、自然科学に関する基礎的知識の定着と発展的内容の理解を図るため。
	数学Ⅰ 3単位を全て減じる。	「SS数学Ⅰ」(3単位)を「数学Ⅰ」の内容に「数学Ⅱ」の内容を含め、発展的な内容を盛り込んで実施することで代替する。	実験データの解析及び考察のため、発展的な内容を取り扱い、研究活動の充実を図るため。
	英語表現Ⅰ 2単位を全て減じる。	「英語表現Ⅰ」の内容に理科等の教科横断的内容を含めた「SS英語表現Ⅰ」(2単位)で代替する。	英語をツールとして領域横断的な社会課題を他者と協働的に考察・検討・発表する力を育成するため。
	総合的な探究の時間 1単位を全て減じる。	「SS研究基礎」(1単位)において、探究的な活動を実施することで代替する。	地域教材をもとにした課題解決学習的な課題研究を実施し、基礎的な探究活動の技能習得を図るため。

(2) 特例科目履修による成果

① SS物理基礎

・大沼環境調査の巡検に参加し、実習・実験を経験することにより、未知のものへの興味や関心、自ら考える力が育成された。

② SS生物基礎

・大沼の水質調査などの取り組みを通して、より身近に「環境」や「生態系」について考えるきっかけが生まれ、探究への土台を作ることができた。また、SDGsの取り組みへの考え方や重要性を意識することができた。

③ SS数学Ⅰ

・理科と共通する基礎知識の多い数学において、基本的な学習内容から少しずつ発展した内容を扱い、考え方の基礎である部分を多く扱うことができた。データだけでなく、三角比や二次関数なども物理と関連する分野が多く、有効に授業展開できた。

④ SS英語表現Ⅰ

・15カ国を対象としたSDGsから考える世界のインディビジュアルスピーチ(題材自由)の際に、理科・社会・家庭科など様々な教科で学んだ知識を教科横断的に活用し充実した内容の発表につなげることができた。また、コミュニケーション英語Ⅰでも主に理科・社会・家庭科と連携し、専門的知識を取り入れた英語学習に取り組めた。

⑤ SS研究基礎

・教科横断授業による「大沼環境調査」を実施することで、地域環境への興味関心を喚起し、さらには課題発見および解決法の提案までさせることができた。それによって後期の課題探究においても、SDGsについての課題発見およびその解決に向けての研究法の開発に積極的に取り組むことができた。